

～ 自然を体感し遊び学べる～

# まなびの里を目指して

沖縄県東村 福地・新川ダム水源地域ビジョン



平成 15 年 3 月

福地・新川ダム水源地域ビジョン策定委員会

# ■ 福地・新川ダム水源地域ビジョン



## 水源地域ビジョンとは・・・

これまでのダムは治水・利水を目的としていましたが、21世紀のダムは、これらのダム効果に加え、地域の豊かな自然・文化などを有効利用し、地域の活性化の核として機能することが期待されています。『水源地域ビジョン』とは、ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化のために、水源地域毎にダム管理者、自治体、住民等が共同で策定する行動計画です。福地・新川ダム水源地域ビジョンは、水源地域の現状や潜在する可能性を踏まえ **水源地域ビジョン策定委員会** を設置して策定しました。

## 福地・新川水源地域の現状

福地・新川ダムのある東村は、「山原（やんばる）」と呼ばれる沖縄本島北部の東海岸にあり、村の総面積は81.79km<sup>2</sup>で、その約82%は山林原野、約10%が農耕地です。

多様で固有な動植物が生息する豊かな自然が残されている貴重な地域です。  
人口は減少傾向で、若年層の人口流出などによる過疎化や高齢化の問題が深刻です。  
農業の就業者数は昭和60年以降減少傾向にあり、農業が衰退しつつあります。  
基幹作物であるパインアップルの生産量はピーク時の約4分の1程度に減少しています。  
つつじ祭りや夏祭り、集落毎に伝統芸能を交えた豊年祭などの祭りが行われています。





福地・新川ダム水源地域ビジョンの策定にあたり、地域活性化の方向性や、地域の特性を踏まえ“ビジョンのテーマ”を設定しました。

地域活性化の方向性

ビジョンのテーマ *～自然を体感し遊び学べる～*

# まなびの里

## 1) 豊かな自然、風土を活かした地域活性化拠点の充実

現在、福地・新川ダム水源地域及びその周辺には、豊かな自然の中にある村民の森や慶佐次湾のヒルギ林等に多くの来訪者があり、自然を活かしたエコツーリズム等の取り組みが進められています。

今後、さらに、やんばるの豊かな自然、東村の歴史・文化、観光農園等の地場産業と連携し、地域活性化拠点の充実を図ります。



## 2) 地域活性化拠点の魅力あるネットワークの構築

福地・新川ダム水源地域及びその周辺における地域活性化拠点を有効に活用するため、魅力あるネットワークの構築を図ります。



## 3) 地域住民を主体とした、都市地域住民との交流のしくみづくりの推進

地域住民が主体となり、様々な活動や取り組みを行っていく中で、都市地域と地域住民との交流を通じて、都市地域の住民に水源地域の重要性を認識し、理解が図られる交流のしくみづくりを推進します。





福地・新川ダム水源地域ビジョンは、“ビジョンのテーマ”を踏まえ3つの基本目標、9つのビジョン区分に分け、21項目のビジョンメニューを設定しました。

## ビジョンの基本目標とビジョンメニュー

ビジョンの基本目標	ビジョン区分	ビジョンメニュー
1. ダム湖や周辺資源を活かした魅力ある地域学習の題材づくりと広報活動を行う。	A. 地域学習拠点整備	ダム湖面の利活用 遊び学べるダム資料館づくり 福地のカーラ（川原）の再現 ダム周辺“花の里”づくり 花さく森・実のなる森づくり
	B. 地域学習題材創出	ダム湖と森のブランド化（エコツーリズムの推進） 自然の探検と発見 クリーンエネルギー学習
	C. 広報・案内	ダムのマスコットキャラクター募集 親子フォトコンテストの開催 体験・体感し遊び学ぶダムまつり ダム友の会の設立 東村への誘導・案内整備
2. <sup>じんぶん</sup> 地域の知恵を活かした魅力ある地域学習ネットワークの構築を図る。	D. 地域学習ネットワーク創出	地域学習のモデル周遊ルートの開発
	E. 人材交流ネットワーク創出	『やま学校・うみ学校』の推進
	F. 情報発信ネットワーク構築	“共同売店”の地域情報発信拠点化
3. 地域資源を活かした交流のしくみづくりを推進する。	G. 人材育成	『あがりの達人』育成
	H. 農業活性化	レンタルファームの活用 ファームステイの活用
	I. 地域の資源活用	森の資源活用 21 特産品の活用



# 福地・新川ダム水源地域ビジョンメニュー概要図

東村全域での取り組み、または位置を特定していないビジョンメニュー

花さく森・実のなる森づくり  
ダム湖と森のブランド化  
自然の探検と発見  
親子フォトコンテストの開催  
ダム友の会の設立  
東村への誘導案内整備

地域学習のモデル周遊ルート開発  
『やま学校・うみ学校』の推進  
“共同売店”の地域情報発信拠点化

『あがりの達人』育成  
レンタルファームの活用  
ファームステイの活用  
森の資源活用  
21 特産品の活用

ダム周辺“花の里”づくり

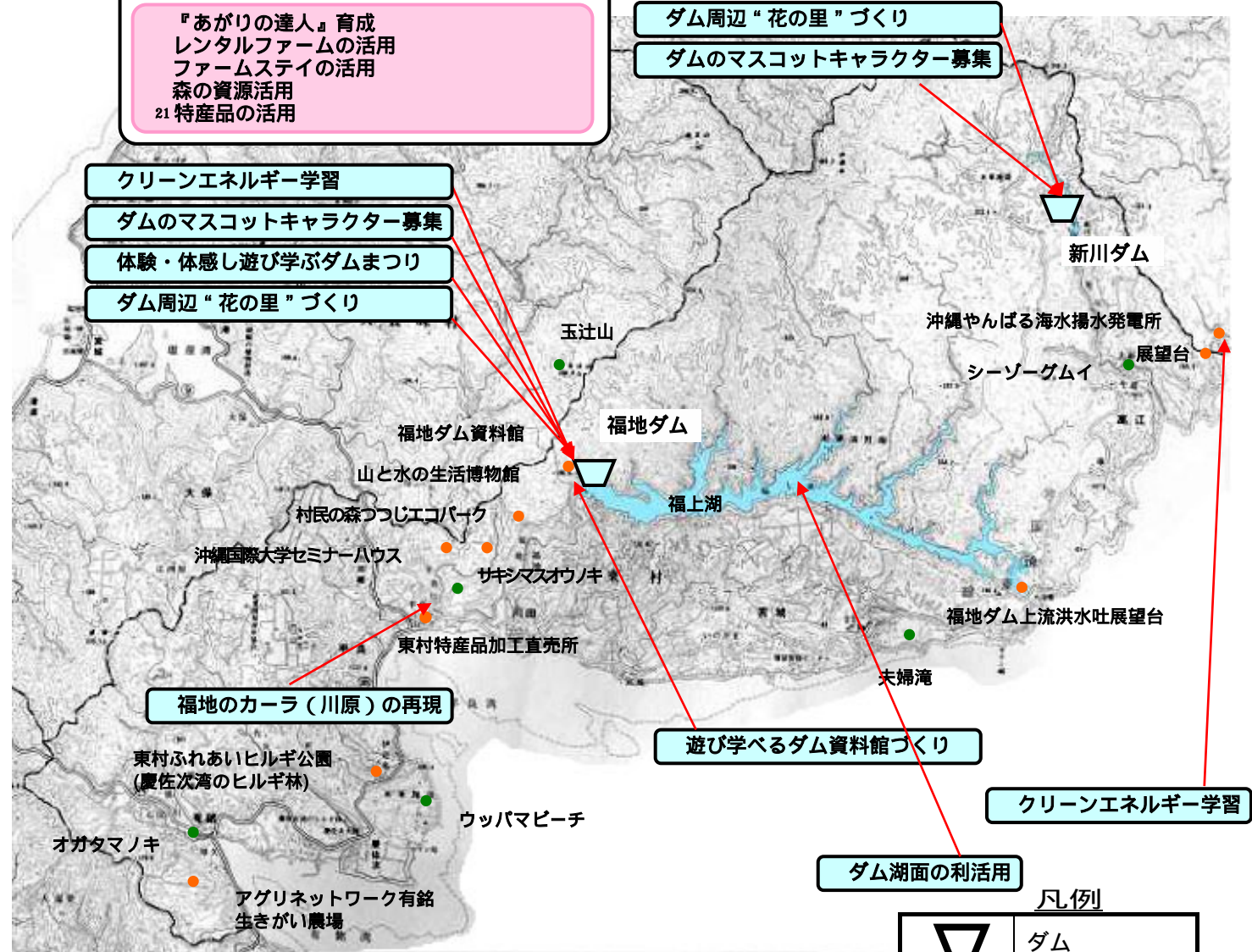
ダムのマスコットキャラクター募集

クリーンエネルギー学習

ダムのマスコットキャラクター募集

体験・体感し遊び学ぶダムまつり

ダム周辺“花の里”づくり



凡例

	ダム
	既存施設
	既存自然資源



## ビジョンメニュー

**基本目標 1：ダム湖や周辺資源を活かした魅力ある地域学習の題材づくりと広報活動を行う。**

### A. 地域学習拠点整備

【実施主体 / 整備目標】 短期 (~3年) 中期 (~5年) 長期 (6年~)

#### ダム湖面の利活用

【東村/短期】

平成15年度を目標に整備が進められている福地ダム湖面(福上湖)を利用した「自然観察船」の施設整備と関連させ、自然学習や体験学習等ができる自然環境負荷の少ない湖面利活用を推進します。



#### 遊び学べるダム資料館づくり

【国/短~中期】

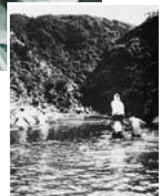
県内の他のダム資料館と主要展示内容の重複を避け、館内での資料展示によるダム及び周辺自然の学習や“自然観察船”等の自然体験と連携し、遊びながら学べる地域学習の拠点としてリニューアル整備を行います。



#### 福地のカーラ(川原)の再現

【県・東村/短期~長期】

お年よりと子供たちの数チームによる『むかしの福地川づくりコンテスト』をワークショップ形式で開催し、お年よりの記憶を子供たちに伝えながら昔の福地川の川原の模型等を制作します。また、多自然型の河川改修方式に取り入れて、部分的に昔の福地川をイメージした自然に近い川の区間を創出し、子供たちがいっそう川に親しめるように工夫します。



#### ダム周辺“花の里”づくり

【国/短~中期】

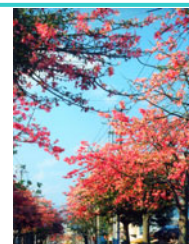
福地ダム提体付近(ゴンミキ)は昔つつじが繁茂し「東村村民の森つつじエコパーク」のつつじのルーツでした。ダム周辺に、つつじが映える森の“原風景”を再現し、村民に親しまれるダムの魅力づくりを行います。また、新川ダム周辺にはサガリバナ並木を整備し「サガリバナ花見まつり」を開催するなど、新たな“花”を愛でる拠点整備を行います。



#### 花さく森・実のなる森づくり

【東村/長期】

四季を通じて“花”のさく森や“実”のなる森を整備し、親しみ楽しめる森づくりを行います。



## B. 地域学習題材創出

【実施主体 / 整備目標】短期(～3年)中期(～5年)長期(6年～)

### ダム湖と森のブランド化(エコツーリズムの推進)

【東村/短～中期】

ダム周辺のトレッキングやカヌーツアー参加の際に『やま札、かわ札』を発行し、一日の入山・入川の人員を適切に調整します。そのように“自然の貸切”を行いコースの価値を高めて、ダム湖および周辺の森のブランド化と自然環境の保全を図ります。



### 自然の探検と発見

【東村エコツーリズム協会/短期】

『水と森の探検団』を結成し、川や湖面から沢などを探索、探検しリュウキュウアユの観察等を行うと共に『自然観察おもしろマップ』を作成し、エコツアーに役立てます。



### クリーンエネルギー学習

【国/短期】

福地ダム水力発電のしくみや、新川ダム近くの沖縄やんばる海水揚水発電所のしくみ等自然にやさしいクリーンエネルギー学習の場として活用します。



## C. 広報・案内

### ダムのマスコットキャラクター募集

【ダムまつり実行委員会/短期】

福地ダム及び新川ダムのマスコットキャラクターの公募を行い、PR活動に役立てます。



倉敷ダムシンボルキャラクター



漢那ダムシンボルキャラクター

### 親子フォトコンテストの開催

【国・東村/短期】

ダム事業PR等のダム情報誌及び案内パンフレットに使用するダム周辺の風景やイベント時の写真を親子フォトコンテストとして公募します。



### 体験・体感し遊び学ぶダムまつり

【ダムまつり実行委員会/短期】

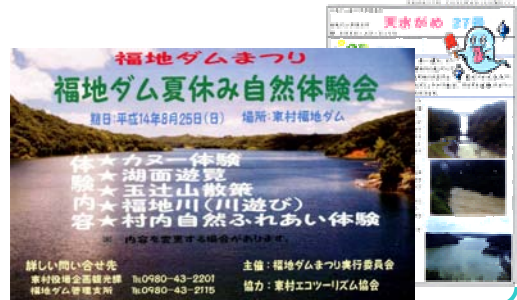
「東村立山と水の生活博物館」や「福地ダム資料館」での地域学習とダム湖面を利用した自然観察船・カヌーによる自然体験等を組み合わせ、親子で“遊び・学べる”プログラムを新たに開発するなど、イベント型から体験型へ内容を工夫し、“ダムまつり”を充実させます。



## ダム友の会の設立

【国/短期】

ダム関連の各種イベントへの参加者を含め広く“ダム友の会”会員を募集し、ダム情報誌を送付してダム周辺の各種イベントの案内等を行い、ダム周辺関連情報の発信人及びダム周辺の自然を護る人の輪をひろげます。



## 東村への誘導・案内整備

【東村・国/短～中期】

西海岸から東村への誘導及びPRのため、国道58号の名護市源河や大宜味村宮城の交差点へ「福地ダム」「慶佐次湾のヒルギ林」等の著名地点道路案内標識を設置します。また、東村内にはそれとリンクした観光案内板等の観光案内システムを整備します。



## 基本目標2：地域の知恵を活かした魅力ある地域学習ネットワークの構築を図る。

### D. 地域学習ネットワーク創出

#### 地域学習のモデル周遊ルート開発

【東村エコツーリズム協会 / 短期】

「沖縄国際大学セミナーハウス」、「東村村民の森つつじエコパーク」、「東村立山と水の生活博物館」、「福地ダム資料館」、「東村ふれあいヒルギ公園」等の各施設をコアとし、海、川、湖、森の自然体験学習、さらに農漁業体験学習等を組み合わせた多様なモデル周遊ルートを開発します。



### E. 人材交流ネットワーク創出

#### 『やま学校・うみ学校』の推進

【東村エコツーリズム協会 / 短期】

自然体験や農漁業体験等の地域学習をカリキュラムとして、林間・臨海学校や総合学習及びセカンドスクールなどに活用する事ができる“やま学校・うみ学校”を推進し、都市地域の児童生徒との交流を図ります。



### F. 情報発信ネットワーク構築

#### “共同売店”の地域情報発信拠点化

【東村商工会 / 短期】

北(国頭村)からの入り口に位置する高江共同売店や他の“共同売店”、“個人商店”、平良の“東村特産品加工直売所”を『むらのゆくいステーション』としてネットワークを構築し、地域情報発信拠点、交流拠点として位置づけ、共同売店の活性化を推進します。





## 基本目標3：地域資源を活かした交流のしくみづくりを推進する。

### G．人材育成

【実施主体／整備目標】短期（～3年）中期（～5年）長期（6年～）

#### 『あがりの達人』育成

【東村/短期】

地域の歴史・自然・文化そして生活を継承・保存し活性化に役立てるため、地域の海、山、生活をよく知る“物知り”の方が講師となり、ツアーガイドや交流のキーマンを育成する『あがりの達人塾』を設立します。『あがりの達人』は人材バンクとして登録され地域活性化を牽引する重要な役割を担います。



### H．農業活性化

#### レンタルファームの活用

【東村/短～中期】

家庭菜園を持つことができない都市地域に住んでいる人に、遊休農地を活用した貸し農園を提供し、自然の中で土と親しみ収穫の喜びを享受できる“レンタルファーム”のしくみを農業活性化の手法として推進します。また、パインアップル等の熱帯果樹のオーナーを募集し、村の農業活性化を応援するサポーターとします。



#### ファームステイの活用

【東村/短～中期】

農家に滞在し農作業支援や農業体験をしながら自然の中でゆったりとすごし、リフレッシュできる“ファームステイ”のしくみを農業活性化の手法として推進します。



### I．地域の資源活用

#### 森の資源活用

【国/短期】

森の資源であるダム湖の流木をリサイクル資源とし、イベント時の体験コーナーの材料や、自然学習の教材としての利用を推進します。



#### 21 特産品の活用

【東村商工会/短～中期】

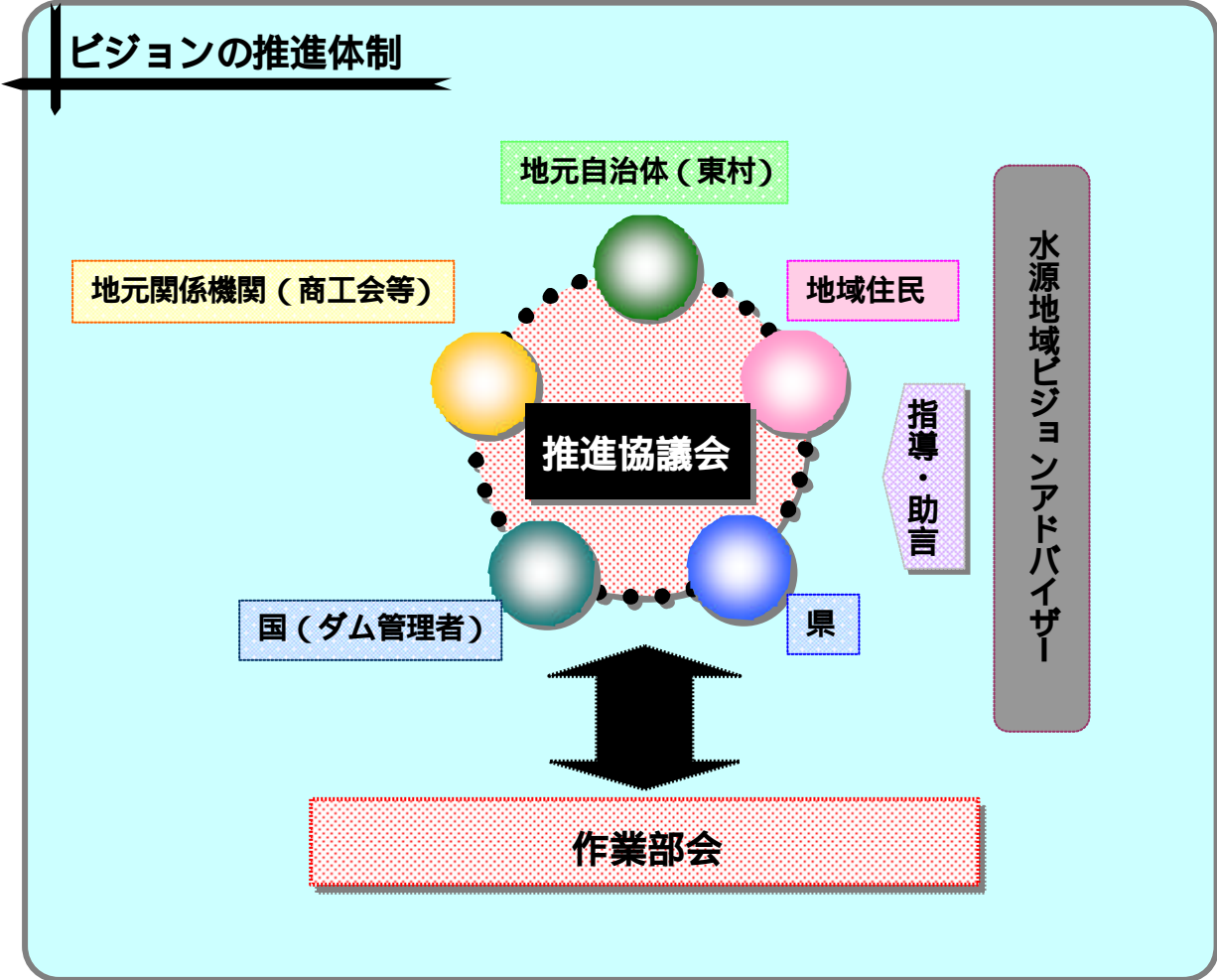
東村の特産品を販売促進すると共に、ミネラルウォーター等の新たな特産品の開発にも取りくみます。



# 福地・新川ダム水源地域ビジョン推進体制



水源地域ビジョンの推進体制として、フォローアップや総合調整等を行う組織として住民の代表者と関係機関の代表者で構成する「水源地域ビジョン推進協議会」を設置し、実施に向けた具体的作業を行う組織として「作業部会」を設置します。  
また、「水源地域ビジョンアドバイザー」(学識経験者)を設置し、ビジョン推進のため必要に応じ指導、助言を仰ぎます。



## ■水源地域ビジョン策定までの経緯



福地・新川ダム水源地域ビジョンは、ダムを活かした地域活性化を図るため、水源地域の現状や潜在する可能性を踏まえ、「水源地域ビジョン策定委員会」を設置して策定しました。



委員会の様子



### ビジョン策定までの道のり

### 策定委員会構成メンバー

#### 第1回策定委員会

開催日：平成14年9月19日

内容：・現状と課題の整理  
・地域活性化の方向性

#### 第2回策定委員会

開催日：平成14年11月12日

内容：・ビジョン基本目標の設定  
・ビジョン内容の検討

#### 第3回策定委員会

開催日：平成15年2月10日

内容：・ビジョン実施のための  
役割分担  
・ビジョンの推進体制

#### 第4回策定委員会

開催日：平成15年3月14日

内容：・福地・新川ダム水源  
地域ビジョンの策定

	氏名	所属	備考
学識 経験者	大城 保	沖縄国際大学 商経学部経済学科教授	委員長
	小濱 哲	名城大学 国際学部観光産業学科教授	
地域 住民	池原 善尚	川田区長	
	喜屋武 盛祥	高江区長	
	仲嶺 久美子	農山漁村生活研究会	
	吉本 淳	東村青年団協議会長	
民間	平井 哲夫	(財)沖縄観光コンベンションビューロー 常務理事	
	宮城 尚志	東村商工会長	
	島袋 徳和	東村エコツーリズム協会長	
東村	平良 尚道	東村 助役	
	山城 定雄	東村 企画観光課長	
	宮城 準	東村 総務課長	
	比嘉 重範	東村 経済課長	
	比嘉 秀和	東村 建設課長	
	吉本 健夫	東村 教育課長	
沖縄県	知念 盛男	沖縄県 土木建築部河川課長	
	上原 恒弘	沖縄県 企画開発部 企画調整室 北部振興班副参事	
	高良 友英	沖縄県 企画開発部 地域・離島振興局 地域・離島課 水資源開発班副参事	
国	三輪 賢志	沖縄総合事務局 開発建設部河川課長	
	仲里 純勇	沖縄総合事務局 北部ダム統合管理事務所長	



福地・新川ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局

沖縄県東村役場 企画観光課

TEL : (0980)43-2201

FAX : (0980)43-3050

内閣府 沖縄総合事務局 北部ダム統合管理事務所 管理課

TEL : (0980)53-2442

FAX : (0980)53-4444